

オーブソニアまつり

法林 浩之

日本UNIXユーザ会
hourin@suplex.gr.jp

- ふらっとホームとの出会い
- 同じようなことを考えていたらしい
- ロッセイイベントスペース(秋葉原)が会場候補に
- 時を同じくしてオーブソニア運動が活発に
- ユーザグループが数多く立ち上がる
- ユーザグループを集めた展示会を開こう

立ち上げ

発表概要

- オーブソニアまつりの内側を描く
- 運営しないといけない話を伝えたい
- 金銭
- 労力
- 人間関係、など...

オーブソニアまつり '99 in 秋葉原

- 会期: 1999年11月12日(金)~13日(土)
- 場所: ヒロセイベントスペース
- 展示
- 企業10社、ユーザグループ10団体
- セミナー
- スライド発表21件
- 有料6件、無料8件
- ユーザグループ、企業が提供
- 来場者数: 7300人

まつり以前 ~jnsの展示会の歴史~

- UNIX Fair
- 1986年~1995年まで年1回ずつ10回開催
- 商用UNIXの隆盛とともに規模拡大
- 1995年ごろから商用UNIX衰退
- 出展社減少→出展料収入減→赤字に
- 「UNIX」では客を呼べなくなった
- Network Users' 1997
- 1997年3月開催
- 「ネットワーク」(インタ-ネット)をテーマに
- でもやっぱり客を呼べなかった

まつり'99の開催結果

- 平日の来場者が少ない
- 初日(金曜)2000人、2日目(土曜)5000人
- みんな仕事では来れないのか?
- 展示レイトアウトの失敗
- 1階にユーザグループ、地下1階に企業を配置
- 地下1階に人が行かない
- 来場者は、ユーザグループを見にきたついでに企業も見ると
- 収支は赤字に
- jnsとぶらっとホームが負担
- ある程度は覚悟していた
- 「まつり」らしい雰囲気を作ることができた
- 周囲の評価も良かったらしい→2回目を開催しよう

新しい展示会の模索

- コンセプト
- 商業展示会とは違う雰囲気を作りたい
- 個人が使うUNIX、PC-UNIXに焦点を当てたい
- コードネーム「まつり」
- 1998年4月には名前が出ていた
- 当初は「PC-UNIXまつり」などと呼ばれていた
- 「オーブソニア」という言葉はまだなかった
- 私が初めて聞いたのは1998年11月のPeril Conference

オーブソニアまつり 2001 in 秋葉原

- 会期: 2001年2月10日(土)~11日(日)
- 場所: ヒロセイベントスペース、ダイドウホール
- 展示
- 企業5社、ユーザグループ17団体
- スライド発表29件
- 有料6件
- 主にjnsが提供
- BOF
- 無料7件
- ユーザグループに部屋を提供して自由に使うもらった
- 内容はセミナー、討論などさまざま
- 来場者数: 8000人

まつり2001の開催結果

- 参加団体は増えた
- オーソニス運動の拡がりは感じた
- 休日2日間にしたが、来場者はそれほど増えなかった
- 季節的な問題？
- あるいは、思ったほどオーソニス人口は増えてないのかも
- 前回よりもさらに「まつり」らしい雰囲気になった
- 周囲の評価も良かったらしい
- しかし収支が全く改善しなかった
- 赤字はjusとぶらっとホームが負担

「まつり」を継続するには

- 経済モデルの確立が必要
- 商業展示モデル
- ミケモデル
- バーバキューモデル、など思案中
- もうからなくてよい収支均衡になることは必要
- 専属に近い形で動く人が毎回1人は必要
- いわば「まじめ役」
- 日頃から仲良くする
- コミュニティも
- コミュニティ同士も

財政面の苦勞

- 出展料
- 会場が狭いのでコマ数を稼げない
- ユーザーから出展料を取れない
- セミナー参加費
- ユーザーから出展料を取れない
- 勉強会価格では大きな収入源にならない
- しかし価格を上げると参加者が集まらない
- 協賛金
- 企業との地道な交渉が必要だがjusの労力不足
- 運営を業者に委託すると高くつく
- 会場設営やイベント作成など
- jusで行うのは困難なので外せなかった
- 会場費が高い
- 立地条件にこだわった結果
- 財政的にはぶらっとホームなしには成立しなかった

私と「オーソニスまつり」

- 「まつり」とは…
- 辞書や文献によると、「神々に感謝の意を表すために、人々が集まって行う諸行事」と書いてある
- 「オーソニスまつり」とは…
- オーソニスの神々に感謝するための行事、かもしれない
- 自分の生活に欠かせないソフトウエアを作ってくれた人達
- に、感謝の心を忘れてはいけない
- 無料で使えるぞわーい、で終わってはいけない
- 自らの感謝の意を、このイベントに込めた
- オーソニスの精神的な部分を多くの人に伝えていきたい
- い

「まつり」をやって良かったこと/悪かったこと

- [良かったこと]
- コミュニティを集めることができた
- 特に、BSDもLinuxも区別なく集まった点は意義深い
- 雰囲気的には、当初考えていたものができた
- [悪かったこと]
- 経済的に成り立っていない
- このモデルではダメか？
- ユーザーさんを「お客さん」扱いしてしまった
- jusの負担が増えるがjusには労力はない
- 共同でイベントを作るという意識がお互い必要

会計報告(まつり2001)

- 収入: 135万円
- セミナー 65万円
- 協賛金 70万円
- 支出: 1100万円
- 業務委託費 630万円
- 会場費 400万円
- 交通費 25万円
- その他 45万円

まとめ

- オーソニスまつりの内側を紹介
- 発表資料
- <http://www.suplex.gr.jp/~hourin/juskansai200110/>
- もっと突っ込んだ話は第4セッションで:-)